
関東 10 ゼミ討論会代表者会議

第 6 期 柴田大樹

1. 4 月 2 日の内容

決定事項および確認事項

- ・ 2009 年度のホストゼミについて
今年度のホストゼミは、多摩大学の豊田ゼミになりました。

- ・ 今後の開催場所について

当初は多摩大学豊田ゼミから「多摩キャンパスのアクセスが他校より悪いので、他校に会場を提供してもらほうが良いのではないか」という提案がありました。しかし最終的には、開会式を早稲田大学で開催する以外には、多摩大学が多摩キャンパスを提供していただけることになりました。なお、品川キャンパスは品川インターシティの 1 フロアに過ぎないので、キャパシティ上 200 人規模のイベントは行えません。

未決定事項と今後の方向性

- ・ 冠テーマについて

2007 年度のテーマが、アイデア性や企画性などの実務的側面を過大評価しすぎるものだったのではないかと、という反省から、2008 年度は学術的側面と実務的側面の両方を重視するテーマを設けました。2009 年度もこの方向性は維持します。

4 月 18 日までに各ゼミから冠テーマ案を募り、第 3 回代表者会議にて決定する予定です。

- ・ カテゴリー分けについて

2008 年度の 4P での分類は、各ゼミの指導教授の専門性によって差が出てしまうのではないかという意見が出ました。しかし、2007 年度のように、業界別の分類が行われた上で各ゼミの専門性が反映されてしまうと、発表の焦点が曖昧になってしまい、平等な審査が行えるとは考えられません。それに対して 4P での分類を実施した場合には、マーケティング学会では実際に 4P での分類が行われていること、また各指導教授が発表内容について加担するとはほとんど考えにくいことなどの考慮すべき点があります。

そこで、次回の代表者会議では、4P での分類を小野ゼミの意見として提案させていただくつもりです。

・ 審査基準について

2008 年度の関東 10 ゼミ討論会においては、各チームの発表の評価基準が不明瞭だったという反省がありました。この反省を生かすため、審査基準をより明確にするという方向はまとまっています。

具体的内容については、まだ深い議論はできていません。しかし、論文賞とプレゼン賞、そしてそれをまとめた総合賞を設けるなどの対策をすることで、各チームを総合的に評価したいという意見も出ています。

2. 今後の 10 ゼミスケジュール

4 月 6 日 (月) 多摩大学豊田ゼミと JMA の打ち合わせ

4 月 18 日 (土) 第 3 回代表者会議

5 月初旬 第 4 回代表者会議

5 月 23 日 (土) 10 ゼミ開会式 (早稲田大学)

7 月 4 日 (土) 構想発表〆切

9 月下旬 中間発表 (各カテゴリーのホストゼミのキャンパス)

11 月上旬 プレ発表

12 月 1 日 (火) 最終論文提出〆切

12 月 13 日 (日) 関東 10 ゼミ討論会本番 (多摩大学多摩キャンパス)